



祝!NHK 合唱コンクール 銀賞受賞!

今日6日(火)は、NHK 合唱コンクール熊本県大会が開催されました。先日の県合唱コンクールに引き続き、合唱部が参加しました。今回の課題曲は、「かわっただけだよ ヘンじゃない」という曲でした。作詞は宮藤官九郎さんで、歌詞には次のようなことが書かれています。「大きな声で歌ったり はい!手を挙げて発表したり 去年は楽しかったのに 今年は なんだか恥ずかしい ヘンなの わたしだけ?」という子供たちの成長の発達段階に見られる心境の変化が歌詩に表してあります。また、「グラタンおかわり はい! じゃんけん買ったら独り占め 去年は 嬉しかったのに 今年はなんだか恥ずかしい ヘンだな ぼくだけ?」など、子供たちの中には経験したような出来事が出てきます。合唱部では、この歌詞の意味を子供たちみんなで考え、どう歌で表現していくかが今回の課題となったようです。そして、みんなで歌詞の意味を共有しながら、今日の本番を迎えることができました。本番が始まると、子供たちは、指揮の力田先生の一挙手一投足を捉えようと真剣かつその空間を楽しむかのように集中していました。「かわっただけだよ ヘンじゃない わたしのチェンジ ぼくのチェンジ」と歌う場面では、子供たちの表情豊かで伸びやかな歌声が、県立劇場に響き渡りました。「昨日と今日はちょっとちがう 去年と今年はぜんぜんちがう 昨日とちがう 明日は きっとおもしろい」のラストは、子供たちの歌声を聴きながらわくわくする気持ちを感じることができました。帯西の子供たちの特徴的な歌い方は、「表現したい!」と全身から伝わる歌い方をします。表情の豊かに表現したり、体を揺らして歌ったりと、一人一人が自分なりの表現の仕方をしつつも、息がぴったり合っているのです。これも日頃の練習の賜物だなと思いながら応援していました。



今日の大会を振り返って、部長の平井さんは「今まで頑張ってきたんですけど、最終的にはみんな一生懸命練習してきたので、自分の中では金賞だったと思います。」と述べていました。結果としては銀賞でしたが、私自身も、子供たちの最高の合唱を誇りに思いました。そう感じることも、指導者、支援する教員、そして子供たちの最大の応援団である保護者の皆様方のご協力おかげだと思い、感謝しています。

合唱部はこれからも九州大会など、活躍する機会が増えましたが、それぞれが高い目標に向かって頑張りたいと思います。

「歌の力」の一つとして「感情を動かす力」があると思います。歌を耳にしていると不意に、心の中の喜怒哀楽を表に引っ張り出されることがあります。今回も、合唱部の子供たちの歌の素晴らしさに、大きな感動を味わわせられました。

コラム コンクールの裏側

今朝も暑かったのですが、校長室前の階段を箒で掃く音が聞こえてきました。覗いてみると、合唱部顧問の力田先生が、廊下のゴミを汗だくになりながら集めていました。「何をしていますか?」と尋ねると、「いつも使わせていただいているので、掃除をしています。」と笑顔で答えてくれました。このような姿が、合唱部の歌声を支えているのだと、職員の姿から教えてもらいました。